

平成 2 0 年度
技術監理室予算要求方針

【目次】

1	平成 2 0 年度技術監理室予算要求総括表	1
2	平成 2 0 年度技術監理室経営方針	2
3	重点的に取り組みを行う主なもの	3
4	事務事業の見直し等	4

1 平成20年度技術監理室予算要求総括表

【一般会計】

平成20年度要求総額 555,202千円
(平成19年度予算額 566,833千円)
前年度比 2.1%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 予算額 B	増 減 A - B
技術管理関連業 務	77,994	80,942	2,948
建設材料試験場 管理運営事業	11,888	12,748	860

2 平成20年度技術監理室経営方針

技術監理室は、建設行政の様々な課題に対し、建設系事業部局を技術面だけでなく人事面なども含めて総括的に支援・指導する組織です。

平成20年度も「ハートフル北九州」の構築に向けて、建設行政コストの抑制や、公共工事の品質確保などに取組んでいきます。

(1) 公共施設の維持管理コストの縮減

- ・安全性や市民サービスの確保を前提に、公共施設の保守点検費や運用費などを見直し維持管理コストの縮減に取り組む。

(2) 公共工事のコスト縮減

- ・機能や品質の確保を前提に、公共工事の計画から維持管理まですべてのプロセスを見直し工事コストの縮減に取り組む。

(3) 公共工事の品質確保

- ・公共工事の計画から維持管理に至るチェック機能を的確に発揮し、公共工事の品質の確保・向上を図る。

(4) 環境に配慮した公共工事の推進

- ・公共工事における、建設廃棄物の資源化やリサイクル製品の普及促進及び自然環境の保全に向けた取組みを行う。

(5) 8千人体制に向けた技術系組織の検討と人材育成

- ・技術系組織の再構築に向けた定数の見直しと、少数精鋭組織を担う人材育成の仕組みづくりに取り組む。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

公共工事の一層の品質確保とコスト縮減の推進

97,879千円

良質な社会資本整備と既存公共施設の適正な維持管理を促進するとともに、コスト管理の徹底を図る。

- ・ 工事価格の算定に用いる、材料単価や積算基準の適正化を進める。
- ・ 良質な公共施設の整備に向けて、新たに中間技術検査を導入するなど、工事検査の充実を図る。
- ・ 建設リサイクル資材認定制度の普及を図り、リサイクル資材の公共工事への利用を促進する。
- ・ 公共施設の維持管理コストの縮減を図るとともに、予防保全型の維持管理への転換を推進する。
- ・ 公共建築施設の維持管理業務の統合発注について検討する。
- ・ 公共工事コスト縮減第三次行動計画に基づき、工事コストの一層の縮減を進める。
- ・ 2007年問題を踏まえ、技術職員の技術力の維持向上を図る。

【成果指標】

維持管理コストの縮減

【目標】H20年度の縮減予定額 2.8億円

【効果】限られた財源の有効活用

公共施設の品質確保

【目標】市民が快適で安全に利用できる公共施設の整備

【効果】良質な社会資本の構築

4 事務事業の見直し等

(1) 委託事務費の見直し

業務内容を精査し、仕様の見直しを行う。

(2) 施設の維持管理費の節減

建設材料試験場維持補修費の削減を図る。